

私がデビューしたころ



私がデビューしたころ 下载链接1

~~著者：~~

出版者:東京創元社

出版时间:2014-6-28

装帧:单行本

isbn:9784488027322

【東京創元社創立60周年記念出版】

作家のデビューは、時に小説以上にドラマティックである。

「ミステリーズ！」の好評連載に書き下ろしを加えた、豪華執筆陣全51名のエッセイ集。作家を志したきっかけや、新人賞受賞までの道のりなど、デビューまでの波瀾万丈の逸話と作家であり続けるための創作論を、デビュ一年順に贈る。

51のエピソードで読み解く、戦後日本ミステリ史！

作者紹介:

目録: 序文 戸川安宣（東京創元社顧問）

1 1940-1960年代

- 1949年 土屋隆夫 「隅の老人の思い出」
- 1955年 高城 高 「探偵小説の時代」
- 1959年 芦川澄子 「『愛と死を見つめて』のころ」
- 1961年 小鷹信光 「十面相×2」
- 1963年 辻 真先 「ただもう我武者羅に」
- 1967年 中町 信 「賞金十万円也」

2 1970-1980年代

- 1974年 山田正紀 「中野ブロードウェイ・ラヴソング」
- 1977年 竹本健治 「一回限りのカーニバル」
- 1978年 今野 敏 「書き続けること」
- 1979年 笠井 潔 「二つのデビュー」
- 1979年 戸松淳矩 「意味のないことなど起こりはしない」
- 1980年 逢坂 剛 「初心忘るべからず」
- 1981年 太田忠司 「僕は逆上がりができない」
- 1981年 島田莊司 「ナツコとの出会い」
- 1981年 菅 浩江 「SFファンからの長い道のり」
- 1983年 井上雅彦 「ショートショートが書きたくて」
- 1986年 芦原すなお 「悲壯で滑稽な意気込み」
- 1987年 綾辻行人 「宝物のようなもの」
- 1987年 倉阪鬼一郎 「風が吹くまでの長い道」
- 1988年 歌野晶午 「無謀に無謀を重ねて」
- 1988年 法月綸太郎 「ブルー・デイズ」
- 1988年 横口有介 「八月の舟」
- 1989年 有栖川有栖 「二十年目を迎えて」
- 1989年 北村 薫 「そうだったのか！」
- 1989年 はやみねかおる 「二足の草鞋が脱げるとき」
- 1989年 宮部みゆき 「十五年ひと昔」

3 1990-2000年代

- 1990年 芦辺 拓 「鮎川賞ビフォア&アフター
龍馬でミュージカルを、ついでにロマンス小説も」
- 1991年 松尾由美 「三度目の正直？」
- 1993年 倉知淳 「新人賞を獲らずにデビューしてもまあどうにかなるものだというお話」
- 1993年 近藤史恵 「失ったものと見つけたもの」
- 1993年 田中啓文 「脇道」
- 1994年 愛川 晶 「三週間戦争」
- 1995年 小林泰三 「夢との再会」
- 1995年 柴田よしき 「やっと思春期？」

1995年 西澤保彦 「十三年目の再デビュー（のつもりで）」
1997年 狩原浩 「小説に参戦」
1998年 鯨統一郎 「山あり谷あり」
1998年 柄刀一 「二度目の処女作までの足跡」
1999年 井上尚登 「反省の日々」
1999年 桜庭一樹 「たったいまの出来事」
2000年 伊坂幸太郎 「喋るデビュー作」
2001年 青井夏海 「夢は自転車操業」
2001年 大倉崇裕 「先生は乱歩賞作家」
2001年 柳広司 「下僕の誕生」
2001年 米澤穂信 「ボディ」
2002年 石持浅海 「地味です」
2002年 北山猛邦 「まだふわふわしてるの？」
2002年 坂木司 「時候の挨拶」
2002年 東川篤哉 「タイキブリザードが負けたから」
2003年 森谷明子 「『締切日必着』と『じっくり構想』」
2006年 大崎梢 「楽しかったり、びくついたり、開き直ったり」
• • • • • (收起)

[私がデビューしたころ](#) [下载链接1](#)

标签

小说

日本版

推理小说

推理

作家デビュー

伊坂幸太郎

评论

51位名作家的出道故事，编织出日本Mystery史。保存版

私がデビューしたころ 下载链接1

书评

私がデビューしたころ 下载链接1